

令和4年度

事業報告書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

令和4年度事業報告書

【 概 要 】

令和4年度は、前2年と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和されつつあるものの、依然として政治、経済、社会に少なからず影響を及ぼす中で、の事業実施となった。

このような状況の中で、市町村では、健（検）診規模を新型コロナウイルス感染症前の状況に戻す動きもみられたが、健（検）診対象者が感染への不安から受診をためらうなど、健（検）診者数がコロナ禍前の数値に回復することはなかった。

受診者数が減少することによりがんの発見が遅れ、今後、進行がんの増加が懸念される。当財団として、コロナ禍においても健（検）診の受診は“早期発見・早期治療”のため、啓発することが非常に重要であり、健（検）診会場は感染症対策が徹底されており、安全に受診できること等の広報事業を展開した。

受診者数における前年度比では、がん検診は0.7%の減少だったが、特定健康診査は3.8%の増加となり、ほぼ横ばいの結果であった。

また、講演会や研修会、会議等も新型コロナウイルス感染症流行の状況を見ながら、関係者と協議した上で実地開催を行ったが、一部はWEBでの開催とせざるを得ない状況であった。

このような状況下においても、当財団として、県、市町村や医師会、新潟大学を始めとした県内大学との連携により、がんやその他の生活習慣病の予防・早期発見等の健康づくりに関する公衆衛生の向上及び高齢者の福祉の増進に必要な事業を可能な限り行った。

【 公益目的事業 】

県民の健康の保持増進については、健康寿命の延伸を図るため、一次予防及び二次予防事業を中心に以下に記載の事業を実施した。

《一次予防》 “がんを含めた生活習慣病の予防知識の啓発”

普及啓発事業として、新聞、ラジオ、YouTube、JR 電車内広告、フリーペーパー等を活用し、“健（検）診受診”が生活習慣病やがん等の早期発見・早期治療のために重要であり、コロナ禍においても過度な受診控えをしないよう広く県民に訴えた。

教育現場からのニーズが高い「がん教育」について、11中学校（参加生徒1,557人）で開催した。

また、中学生に対し、歯や口の健康づくりについての正しい知識の啓発活動として、2校で講演会を開催した。

啓発イベントでは、10月6日に新潟市で「がん征圧新潟県大会」を開催した。市町村と行う講演会は、柏崎市、阿賀町、糸魚川市、田上町、阿賀野市で開催し、あわせて今年度から各市町村で実施している健康イベントへのブース出展を9市町村で実施

した。

《二次予防》 “受診率、検診精度の向上に向けた取り組み”

(特定健康診査について)

「新潟県健診保健指導支援協議会」を通じて、特定健診受診率の向上のための啓発活動、健診データの評価分析、健診従事者への研修事業等を実施した。

(各種がん検診について)

がん検診事業をより円滑に実施するため、検診従事者の資質向上を目的に、がん検診セミナー等を開催し、がんの早期発見、診断等に必要な知識及び技術の習得を図った。

また、5大がんについては、市町村、検診機関から集めたデータから“検診と精密検査”の統計結果を作成し、更に発見がんに対する疫学調査により発見されたがんの病期等の詳細な情報を関係機関にフィードバックすることで検診精度の向上につなげた。

【 収益事業 】

当財団の財務基盤の強化を図るための主な収益事業として、本来、特定健診実施機関が行う特定健診料金を請求するための健診結果の電子データ作成について、当財団に委託を希望する健診実施機関からの代行（473 機関）や個人結果通知書作成業務（2市 57 機関）を有償で受託し、健診実施機関における事務作業の軽減を図った。

〈 理事会・評議員会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決された。

第32回 定例理事会

開催日： 令和4年6月6日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和3年度事業報告」について

第2号議案「令和3年度決算報告」について

第3号議案「定時評議員会へ提出する役員等候補者名簿」について

第4号議案「定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」について

第33回 臨時理事会

開催日： 令和4年6月27日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 代表理事（理事長）の選定について

第2号議案 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について

第34回 定例理事会

開催日： 令和5年3月16日（木）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 「令和5年度事業計画」について

第2号議案 「令和5年度収支予算」について

第3号議案 評議員、理事の補充と事務局人事について

第20回 定時評議員会

開催日： 令和4年6月27日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 「令和3年度事業報告」について

第2号議案 「令和3年度決算報告」について

第3号議案 「役員等の選任」について

報告事項： （1）「令和4年度事業計画」について

（2）「令和4年度収支予算」について

令和3年度事業・決算監査

開催日： 令和4年5月26日（木）

場 所： 財団会議室

監 査： （1）「令和3年度事業報告」について

（2）「令和3年度決算報告」について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」と連携し、市町村国保を始めとする医療保険者が実施する特定健診・特定保健指導事業等の後方支援に努めた。

※特定健診実施数（後期高齢者健診等を含む）

30市町村国保及び県内3国保組合 230,243人 (221,908人)
()内は令和3年度実施数

1 健診の円滑な実施のための取組み

(1) 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

当財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、特定健診・特定保健指導の全県統一方式(健診の均質化)の推進、健診事業の均質化を図った。

また、特定健診未受診者に係る「情報提供事業」について、医療機関の契約代表者となり、委託者の市町村(国保)と業務委託契約を締結し、市町村の保健事業の推進支援に努めた。

参加市町村数 20、参加医療機関数 358

(2) 市町村健康診査等担当者研修会 (II がん検診等受託事業と共同事業)

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等の業務に従事する新任担当者等に対し研修会を開催した。

開催日： 令和4年5月23日(月)～6月22日(水)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

閲覧数： 343回

(3) 健康診査事業合同打合せ会 (II がん検診等受託事業と共同事業)

令和5年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により開催した。

開催日： 令和5年2月15日(水)～3月17日(金)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

申込者数： 275人

(4) 健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会（委員長 新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科教授 田邊直仁）を運営し、令和5年度特定健診料金（案）について協議した。

(5) 印刷物の企画、印刷・配付・斡旋等

個人記録票や質問票など健(検)診に使用する記録用紙について、各市町村及び健(検)診機関の必要部数を取りまとめ、一括印刷・配布を行うことにより、健(検)診の全県統一方式の推進とともに、健(検)診事業の効率化を図った。

(6) 普及啓発用備品整備貸出等 (Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業)

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関する資料や、血管年齢測定機器等の健康教育資材の貸出を行った。（貸出件数 23件）

(7) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用品提供

市町村国保・県内3国保組合及び新潟県健診保健指導支援協議会構成団体が、各種イベントなどにおいて、特定健診の啓発のためのポケットティッシュ、ウェットティッシュ等を提供し、特定健診受診の意識向上を図った。

2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の作成等に活用するため、特定健診等の結果集計報告を基に全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成し、財団ホームページに掲載した。

3 健康づくりと健診受診率向上等に向けた普及啓発活動

(1) 市町村と共同で開催する講演会 (Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

生活習慣病に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導、がん検診の受診勧奨を目的として5市町で開催した。

ア 柏崎市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和4年8月9日（火）

場所： 柏崎エネルギーホール

参加者： 66人

内容： 肺がんの予防と早期発見

講師： 新潟県保健衛生センター 会長 横山 晶

イ 阿賀町生活習慣病予防講演会

開催日： 令和4年11月3日（木）

場 所： 総合福祉保健センター やまぶきの里

参加者： 21人

内 容： 体力を維持するため正しい運動のしかた

講 師： 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 教授 佐藤 敏郎

ウ 糸魚川市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和4年11月30日（水）

場 所： 糸魚川市民会館

参加者： 35人

内 容： フレイル予防について 栄養・食生活編

講 師： 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション コーディネーター
管理栄養士 藤田 恵美子

エ 田上町生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年1月12日（木）

場 所： 田上町交流会館

参加者： 60人

内 容： 骨粗鬆症 知る、対策を始める、そして続ける

講 師： 新潟県立燕労災病院 病院長 遠藤 直人

オ 阿賀野市生活習慣病予防講演会

開催日： 令和5年2月10日（金）

場 所： 水原保健センター

参加者： 80人

内 容： 糖尿病予防講演会

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
生活習慣病予防・健診医学（健診・人間ドック学）講座
特任教授 新潟県労働衛生医学協会 理事 加藤 公則

（2）中学生に対する生活習慣病予防等教育（IIがん検診等受託事業と共同事業）

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について啓発を行った。

開催市町村： 8市村

開催中学校： 11校

出席生徒数： 1,557人

- ア 新発田市立七葉中学校
開催日： 令和4年5月20日（金）
受講者数： 108人
内容： “がん” についてのお話し
講師： 新潟大学大学院保健学研究科 教授 小山 諭
- イ 十日町市立吉田中学校
開催日： 令和4年6月3日（金）
受講者数： 50人
内容： 「がん」 から身を守る
講師： 新潟県労働衛生医学協会 医師 月岡 恵
- ウ 長岡市立東北中学校
開催日： 令和4年9月22日（木）
受講者数： 236人
内容： 胃がんのお話し
講師： 厚生連新潟医療センター 副院長 佐藤 祐一
- エ 魚沼市立堀之内中学校
開催日： 令和4年9月28日（水）
受講者数： 71人
内容： 「がん」 について
講師： 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸示
- オ 三条市立第四中学校
開催日： 令和4年9月30日（金）
受講者数： 200人
内容： “いのち” についての講演会
講師： 五泉中央病院 院長 高橋 姿
- カ 関川村立関川中学校
開催日： 令和4年10月3日（月）
受講者数： 40人
内容： 高齢化社会と消化器がんについて
講師： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座
特任准教授 上村 博輝

- キ 新発田市立佐々木中学校
開催日： 令和4年10月7日（金）
受講者数： 57人
内 容： 悪性腫瘍 悪性新生物とは
講 師： あがの市民病院 病院長 藤森 勝也
- ク 燕市立分水中学校
開催日： 令和4年10月18日（火）
受講者数： 126人
内 容： 「がん」について考えてみませんか？
講 師： 新潟市民病院 消化器外科 副部長 亀山 仁史
- ケ 長岡市立小国中学校
開催日： 令和4年10月19日（水）
受講者数： 65人
内 容： “いのち”についての講演会
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療
課題解決支援講座 地域医療分野 特任講師 小川 洋平
- コ 阿賀野市立水原中学校
開催日： 令和4年10月21日（金）
受講者数： 500人
内 容： “いのち”についての講演会
講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療
課題解決支援講座 地域医療分野 特任教授 井口 清太郎
- サ 魚沼市立湯之谷中学校
開催日： 令和4年12月9日（金）
受講者数： 104人
内 容： いま10代の諸君に知って欲しい「がん」のこと
講 師： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

（3）中学生に対する歯と口の健康づくり教育

中学生に対し、「歯と口の健康づくり」と題して、啓発を行い、将来、歯周病による全身疾患の発症リスクを抑え、健康寿命の延伸につなげるための講演会を開催した。

ア 長岡市立小国中学校

開催日： 令和4年6月29日（水）

受講者数： 65人

講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

イ 魚沼市立堀之内中学校

開催日： 令和4年7月5日（火）

受講者数： 55人

講師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

（4）各種健康づくりイベントへの参加

24時間テレビチャリティブースのイベントに出展し、参加者に対し特定健診及びがん検診等の普及啓発を図った。

開催日： 令和4年8月27日（土）、28日（日）

場所： 万代シティ歩行者天国

参加者： 339人

内容： 血管年齢測定、乳がん触診体験、歯周疾患チェック、受診勧奨用パンフレット配布等

（5）市町村健康づくりサポート事業（新規）

市町村が住民の健康づくりのために開催する「健康祭り」、「健康フェア」等の際に測定コーナーを開設し、血管年齢測定などを通じて住民に健康づくりの大切さを意識してもらい、市町村の保健活動を支援した。

ア 柏崎市 令和4年8月9日（火） 血管年齢測定

イ 長岡市 令和4年9月17日（土） 血管年齢測定

ウ 阿賀町 令和4年11月3日（木） 血管年齢測定、脳年齢測定、骨密度測定

エ 出雲崎町 令和4年11月3日（木） 血管年齢測定

オ 刈羽村 令和4年11月5日（土） 血管年齢測定

カ 加茂市 令和4年11月9日（水） 血管年齢測定

キ 糸魚川市 令和4年11月30日（水） 血管年齢測定

ク 田上町 令和5年1月12日（木） 血管年齢測定、脳年齢測定

ケ 阿賀野市 令和5年2月10日（金） 血管年齢測定

(6) ホームページを活用した情報提供活動

財団ホームページについて、県民が利用しやすい内容として健康づくり情報の発信等を行った。

なお、ホームページの充実に向けてリニューアル作業を開始した。

4 広報による受診勧奨 (Ⅱ がん検診等受託事業及びⅢ 生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業)

(1) 広告媒体を用いた普及啓発等

ア JR広告 (Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

4月から1年間、県内エリアのJR電車内のドア上に、特定健診及びがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

イ ラジオコマーシャル (Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業と共同事業)

B S Nラジオにおいて4月から1年間、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、週2回コマーシャルを放送し、さらに令和5年3月に、パブリシティーとしてう蝕(むし歯)予防に関する情報のミニ番組を放送した。

ウ YouTube広告

若い世代を含む広い世代への受診勧奨を目的として、6月から10月までYouTube広告によりがん検診及び子宮がん検診の受診勧奨動画を配信した。

再生回数	がん検診	9.5万回
	子宮がん検診	9.1万回

(2) 普及啓発用リーフレットの配付

健康寿命の延伸に向け、特定健診受診勧奨用リーフレットやメタボなど特定保健指導対象者向けリーフレットを市町村国保、県内3国保組合へ配付し、住民への生活習慣病予防の意識啓発を図った。

II がん検診等受託事業

1 がん検診事業に係るコーディネート

(1) がん検診等に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診の問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

() 内は令和3年度実績

ア 胃がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	69,014人	(69,806人)

イ 子宮がん検診

車 検 診

契約市町村数	24	(27)
受診者数	21,856人	(25,644人)

施 設 検 診

契約市町村数	28	(27)
受診者数	17,908人	(18,583人)

体がん検診

契約市町村数	2	(2)
受診者数	371人	(356人)

ウ 肺がん検診

X線写真読影

契約市町村数	30	(30)
受診者数	185,765人	(181,050人)

喀 痰 検 査

契約市町村数	29	(29)
受診者数	2,882人	(2,980人)

エ 乳がん検診

集 団 (マンモ)

契約市町村数	26	(30)
受診者数	38,515人	(45,043人)

施設(マンモ)

契約市町村数	21	(20)
受診者数	13,489人	(12,580人)

オ 大腸がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	122,879人	(120,310人)

カ 肝炎ウイルス二次検診

契約市町村数	1	(2)
受診者数	271人	(352人)

キ 前立腺がん検診

契約市町村数	12	(12)
受診者数	6,780人	(6,458人)

(2) 市町村健康診査等担当者研修会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(3) 健康診査事業合同打合せ会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(4) 精度管理調査事業

県内検診機関による「新潟県検診機関協議会」の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において実態調査を行った。

また、県の委託により、市町村が行うがん検診を受託する全ての医療機関に対し精度管理調査を行い、検診体制の実態を把握し、質の高い検診体制の構築を図るために必要な基礎資料を作成した。調査実績は以下のとおりである。

	調査機関数	回答機関数
肺がん(集団)	10	10
胃がん(集団)	12	12
胃がん(個別)	70	44
胃内視鏡(個別)	145	113
乳がん(集団)	8	8
乳がん(個別)	29	27
子宮がん(集団)	9	9
子宮がん(個別)	85	69
大腸がん(集団)	12	12
大腸がん(個別)	383	281

2 検診データ等の評価・分析

(1) 悪性新生物（がん）登録収集業務

県の委託により関係医療機関への届出用CD-R等の配付、がん登録情報の收受など、がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業を行った。

登録票受付件数 28,928件 (28,130件)

届出医療機関数 148機関 (145機関)

() 内は令和3年度実績

(2) 検診結果統計分析事業

「Ⅱ-1-(1) がん検診等に係る業務」に記載の各種がん検診実績数の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。また、希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 () 内は令和3年度実績

・胃がん検診実施市町村数 3 (3)

・子宮がん検診実施市町村数 3 (3)

・乳がん検診実施市町村数 3 (3)

・肺がん検診実施市町村数 3 (3)

・大腸がん検診実施市町村数 3 (3)

・前立腺がん検診実施市町村数 1 (1)

(3) がん検診データ等一元化事業（任意型検診）

乳がん検診について、県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握するため、新潟県検診機関協議会の協力を得て、任意型検診の結果を収集し分析した。

(4) 疫学調査事業

ア 疫学調査

令和3年度の5大（胃・子宮・肺・乳・大腸）がんの検診結果に基づき

「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

イ 結果報告

平成30年度実施分の胃がん、肺がんの結果を取りまとめ報告書を作成し、関係者に配付した。

ウ 追跡調査

平成29年度疫学調査結果でがんと診断された者の予後について、追跡調査を実施した。

	(令和3年度分) 疫学調査	(平成29年度) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	157件	288件
・子宮がん検診実施件数	114件	46件
・肺がん検診実施件数	281件	214件
・乳がん検診実施件数	196件	258件
・大腸がん検診実施件数	347件	611件

3 研究・研修の推進

(1) 新潟県がん検診研究会

がんに関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県がん検診研究会の運営等を支援した。

会 長	新潟県保健衛生センター会長	横山 晶
会 員 数	個人 10人	団体 71団体
令和4年12月6日(火)	第1回理事会	書面協議
令和5年3月16日(木)	第2回理事会	書面協議

第34回新潟県がん検診研究会総会を開催した。

開催期間： 令和5年3月17日(金)～令和5年3月31日(金)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

閲覧数： 79回

内 容：

- 講演1 「長岡市における胃がん撲滅プロジェクト」
講 師 厚生連長岡中央総合病院 名誉院長 富所 隆
- 講演2 「長岡市における中学生に対するピロリ菌検査について」
講 師 長岡市教育委員会学務課兼学校教育課
主査兼指導主事 鈴木 美和子

(2) 新潟県検診機関協議会

新潟県検診機関協議会が目的とする県民保健福祉の向上に寄与するための検診技術及び精度の向上、情報交換並びに調査研究等の運営等を支援した。

会 長	新潟県健康づくり財団理事長	渡部 透
会 員 数	25団体	
令和4年5月18日(水)	第1回役員会	書面協議
6月29日(水)	定例総会	新潟東映ホテル
令和5年3月2日(木)	検診従事職員研修会	
	ホテルグローバルビュー新潟(詳細はP25)	
3月17日(金)	常任幹事会	Zoom開催
3月22日(水)	第2回役員会	書面協議

(3) 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において、肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

委員長 新潟県保健衛生センター会長 横山 晶

委員 8人

地域肺がん検討委員会(12地域)

(設置地域) 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡
魚沼・南魚沼・十日町・柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を书面協議により開催した。

開催日： 令和5年1月4日(水)

議題：

- ア 令和3年度肺がん検診結果報告について
- イ 令和2年度肺がん検診疫学調査・追跡調査について
- ウ 令和3年度地域肺がん検討委員会開催状況

(4) 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会(5地域)において、「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携により乳がん検診の円滑な実施及び運営を行った。

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信昭

委員 13人

地域乳がん検討委員会(5地域)

(設置地域) 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を书面協議により開催した。

開催日： 令和5年3月17日(金)

議題：

- ア 令和3年度乳がん検診結果報告等について
- イ 令和2年度乳がん疫学調査結果報告について
- ウ 令和3年度地域乳がん検討委員会の開催状況について

(5) 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科
腎・泌尿器病態学分野 教授 富田 善彦
委員 12人

新潟県前立腺がん検討委員会を開催した。

開催日： 令和5年3月4日（土）
場所： 新潟県医師会館401、402会議室
議題：
ア 令和3年度前立腺がん検診結果等について
イ 前立腺がん検診判定基準値（住民検診以外）等について
ウ その他

4 がん予防と受診率向上に向けた普及啓発活動

(1) 新潟はっぴー乳ライフ事業

「新潟はっぴー乳ライフ」事業として開催するピンクリボンホリデーのイベントを実施し、乳がん予防の啓発を図った。

代表 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

実行委員 29人

令和4年5月10日（火）	第1回実行委員会	WEB開催
7月19日（火）	第2回実行委員会	〃
9月6日（火）	第3回実行委員会	〃
12月13日（火）	第4回実行委員会	〃
令和5年2月22日（水）	第5回実行委員会	〃

「ピンクリボンホリデー2022」を開催した。

開催期間： 令和4年10月16日（日）～11月15日（火）
開催方法： ハイブリッド開催（リアルタイム配信+録画配信）
参加者： リアルタイム配信20名、録画配信454回
内容：

・リレー講座

「知ってほしい乳がんのこと、受けてほしい乳がん検診」

ア 「新型コロナウイルス感染症流行下でのがん検診」

新潟県福祉保健部健康づくり支援課 丹波 あやの

イ 「乳がんの早期発見へ～マンモグラフィを知ろう！～」

厚生連新潟医療センター 佐久美 瑞枝

ウ 「乳がん検診と誰もがができる自己触診」

新潟市民病院看護部 鈴木 るみ子

エ 「乳癌診療について～病院は怖くない～」
厚生連長岡中央総合病院外科部長 長谷川 潤

オ 「がんを経験して、今伝えたいこと」
あけぼの新潟 塚田 真紀

・講演

「知ってほしい 乳がんのこと！受けてほしい乳がん検診！！」
川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科 講師 野村 長久

(2) 市町村と共同で開催する講演会 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(3) 中学生に対する生活習慣病予防等教育 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

(4) 肝炎対策の普及啓発

新潟大学医歯学総合病院肝疾患相談センターと協働し、B・C型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げるため、市民公開講座及び職域向けの講演会を開催し普及啓発を行った。

<市民公開講座>

開催期間： 令和4年7月25日(月)～8月21日(日)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

参加者： 37人

内容：

ア 肝臓の働きについて

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器内科学分野 助教 薛 徹

イ B型肝炎ウイルスについて

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器疾患診療ネットワーク講座 特任准教授 上村 博輝

ウ C型肝炎ウイルスについて

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任助教 渡邊 雄介

エ アルコール性肝炎について

新潟大学大学院医歯学総合研究科

消化器内科学分野 講師 坂牧 僚

オ 非アルコール性脂肪性肝疾患について

新潟大学大学院医歯学総合研究科

健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座 特任准教授 横尾 健

- カ 自己免疫性肝炎について
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 特任助教 酒井 規裕
- キ 原発性胆汁性胆管炎について
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 医員 木村 成宏
- ク 肝硬変について
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 准教授 土屋 淳紀
- ケ 肝細胞癌について
新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器内科学分野 助教 阿部 寛幸
- コ 肝炎啓発活動について
新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター
特任助教 荒生 祥尚

<職域向け講演会>

測量設計業安全衛生推進協議会の安全衛生研修会として開催した。

開催日： 令和4年7月26日（火）

場所： 新発田地域振興局 大会議室

参加者： 30人

内容： 講演 「ウイルス性肝炎の最新情報」

講師 新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター

特任助教 荒生 祥尚

(5) ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

5 広報による受診勧奨

(Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業及びⅢ 生活習慣病予防普及啓発等事業と共同事業)

III 生活習慣病予防普及啓発等事業

1 円滑な事業実施を図るための取組み

(1) 普及啓発用備品整備貸出等 (I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同事業)

2 研究・研修の推進

(1) 新潟県糖尿病対策推進会議

糖尿病に関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県糖尿病対策推進会議の運営等を支援した。

会 長 新潟県健康づくり財団理事長 渡部 透

会 員 数 個人 8人 団体 64団体

令和4年8月31日(水) 第1回幹事会 WEB開催

9月28日(水) 第1回理事会 書面協議

令和5年3月9日(木) 第2回理事会 書面協議

第9回新潟県糖尿病対策推進会議総会を開催した。

開 催 日 : 令和4年11月5日(土)

場 所 : 新潟県医師会館、WEB(ハイブリッド)開催

参 加 者 : 新潟県医師会館7人、WEB接続数42

内 容 :

ア シンポジウム

テーマ 「新潟県での糖尿病腎症重症化予防の取り組み」

座 長 上村医院 院長 上村 伯人

演題1 「新潟県糖尿病・CKD協力医制度について」

新潟県福祉保健部健康づくり支援課 小島 美世

演題2 「地域糖尿病・CKD協力医登録後の実践報告」

関川村国民健康保険関川診療所 所長 平田 丞

演題3 「糖尿病性腎症患者への対応」

高木内科クリニック 理事長 高木 正人

イ 特別講演

演 題 「糖尿病治療update-CGMからの知見を含めて」

座 長 厚生連長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八幡 和明

講 師 東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科
主任教授 西村 理明

(2) フレイル克服プロジェクト

県の委託により県民の健康寿命の延伸を図るため、「加齢予防介入モデル事業」と「疾病介入モデル事業」を両輪とし、関係機関からの協力を得て事業を実施した。

令和4年6月9日（木）フレイル対策二次予防等事業実施報告会

令和4年11月26日（土）フレイル克服対策講習会（ライブ配信）

視聴者数： 64名

・加齢予防介入モデル事業

ア 関係機関： 関川村「健脚・健脳うんどう日」

開催日： 令和4年11月10日（木）～令和5年2月16日（木）

参加者： 44名

実施内容： 10m歩行速度、握力、基本チェックリスト、
脳年齢測定等

イ 関係機関： トキめき会（佐渡市）

開催日： 令和4年9月9日（金）～10日（土）参加者：68人

10月28日（金）～29日（土）参加者：62人

令和5年2月17日（金）～18日（土）参加者：44人

実施内容： 10m歩行速度、握力、バランス機能、筋肉量、
認知機能、視力、聴力等

ウ 関係機関： 燕市粟生津地区協議会

開催日： 令和4年10月8日（土）

参加者： 70名

実施内容： フレイルについての講演、血管年齢測定

・疾病介入モデル事業

関係機関： 新潟南病院、佐渡総合病院、信楽園病院

テーマ： フレイルを伴う高齢心不全患者へのリハビリ介入

関係機関： 新潟市民病院

テーマ： 消化器外科手術症例におけるフレイル評価の有用性

関係機関： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座

テーマ： 肝疾患のサルコペニアにおける栄養状態

関係機関： 新潟南病院

テーマ： 身体的フレイル高齢患者に対する独歩プロジェクト「DOPPO」

関係機関： 新潟大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学分野

テーマ： 歯科外来患者における口腔機能低下症診断の実態調査

3 生活習慣病と受診率向上等に向けた普及啓発活動

(1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった方々に表彰を行った。

開催日： 令和4年10月6日（木）

場所： 新潟県民会館 大ホール

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

該当なし

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人 坂上 敏文 医師

長谷川 登 //

花野 政晴 //

須田 陽子 //

中島 拓 //

茨木 奈美 保健師

丸山 美子 //

団体 該当なし

(2) 生活習慣病予防展

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実践定着を目的として、関係機関との共催により「生活習慣病予防展」を開催した。

開催日： 令和4年10月6日（木）

場所： 新潟県民会館 ホワイエ（第37回がん征圧新潟県大会と併催）

(3) ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

4 広報活動

(1) 広報による受診勧奨

ア 新聞広告等

9月と11月に新潟日報朝刊に、がん征圧新潟県大会の開催案内及び講演録を掲載し、がん予防の普及啓発を行った。

また、新潟日报社の「めざせ!!健康寿命日本一、にいがたプロジェクト」に協賛し、3月にがん検診受診勧奨広告を掲載した。

イ フリーペーパー広告

子育て世代の女性を主なターゲットに、フリーペーパー「はっぴーママ」

に3回にわたり受診勧奨の広告を掲載した。

- ・4月25日発行分 : 乳がん検診の受診勧奨
- ・6月25日発行分 : 子宮頸がん検診の受診勧奨
- ・8月25日発行分 : HPVワクチン接種について

ウ サイネージ広告

4月から1年間、万代シティバスセンター内の発着番線10柱のデジタルサイネージにがん検診受診勧奨動画を放映し、バス待ちの乗客や買い物客へ向けた受診勧奨を行った。

エ ポスター・リーフレットの配布	(部数)
・ポスター「がん征圧月間」	340枚
・ポスター「禁煙推進」	340枚

(2) 機関紙「陽光」発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を発行し、市町村(公民館を含む)をはじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

ア 第33号 (令和4年7月発刊)

「新潟県のウイルス性肝炎対策と、アルコール性肝障害・非アルコール性肝障害について」

新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター 荒生 祥尚 他

「皮膚にもがんができるの？」

新潟県立がんセンター新潟病院 副院長 竹之内 辰也

イ 第34号 (令和4年12月発刊)

「口腔ピロリ菌の闇に迫るーくちのピロリよ何処に向う?ー」

新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔健康科学講座 う蝕学分野 教授 野杵 由一郎

「地域医療を担う医師を取り巻く今後の課題～AIを活用して～」

新潟大学医歯学総合病院 消化器内科学分野 上村 博輝

「ピンクリボンホリデー2022 リレー講座」

厚生連長岡中央総合病院 外科 長谷川 潤 ほか講師3名

IV がん予防普及啓発活動

1 がん征圧に向けた普及啓発活動

(1) がん征圧維持会員募集及び寄附受入れ

ア がん征圧維持会員募集実績

・法人会員	自治体会員	30 市町村	1,190,000 円
	医師会会員	16 団体	400,000 円
	検診団体会員	24 団体	240,000 円
	一般法人会員	44 団体	443,000 円
・個人会員		35 人	146,000 円
	(合 計)		2,419,000 円)

イ 寄附受入れ実績

・法人寄附		1 団体	51,200 円
・個人寄附		1 人	300,000 円
	(合 計)		351,200 円)

(2) 第37回がん征圧新潟県大会

県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRしがん撲滅の誓いを新たにするため、関係機関の協力のもと開催した。

開催日： 令和4年10月6日(木)

場所： 新潟県民会館 大ホール

参加者： 200人

内容：

ア 式典

イ 事業紹介

「東北次世代がんプロ養成プランの取組とがんゲノム医療について」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍内科学分野 教授

西條 康夫

ウ 特別講演

「柳緑花紅～人生宝箱～」

新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長 今井 洋介

エ がんサバイバー対談

「やまいと出合って気づいたこと」

新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長 今井 洋介

あけぼの新潟

／新潟日報社統合推進センター エディター 江森 美奈子

(3) 働く世代のがん対策セミナー

働く世代のがん検診受診率向上やがんになっても働き続けられる環境の充実を目指し、主に企業の経営者や人事労務担当者を対象としたセミナーを、新潟県との共催により開催した。

開催期間： 令和5年2月20日（月）～令和5年3月20日（月）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

申込数： 126人

内容：

ア 「働く世代のがんの基礎知識」

新潟県労働衛生医学協会 医師 月岡 恵

イ 「働く世代のがん検診について」

新潟県福祉保健部健康づくり支援課 成人保健係 林 唯香

ウ 「たいせつな人財・事業のために行う治療と仕事の両立支援

～事業主、人事・労務ご担当者に知っていただきたいこと～」

新潟産業保健総合支援センター

労働衛生専門職（両立支援担当） 木村 明子

両立支援促進員（社会保険労務士） 藤井 秀晃

両立支援促進員（社会保険労務士） 及川 智子

エ 県内企業の取組事例紹介

研冷工業株式会社 取締役・総務部部長 酒井 明美

(4) ホームページを活用した情報提供活動（再掲）

2 広報による受診勧奨（Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業及びⅡ がん検診等受託事業と共同事業）

V 研究研修事業

1 研究・研修の推進

(1) 健康診査従事者研修会

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で開催した。

開催日： 令和5年3月2日（木）

開催場所： ホテルグローバルビュー新潟

参加者： 合同研修 116人

第一分科会 88人

第二分科会 40人

第三分科会 21人

内 容：

ア 合同研修

講演 「新潟野球のミカタ～その現在地と人材育成～」

講師 新潟野球ドットコム 代表 岡田 浩人

イ 第一分科会

講演1 「動脈硬化性疾患予防ガイドラインの改訂ポイントについて」

講師 新潟県労働衛生医学協会 理事 加藤 公則

講演2 「標準12誘導心電図検診判定マニュアルの改訂に伴う健診ガイドラインの改正について」

講師 新潟市急患診療センター センター長 山添 優

ウ 第二分科会

講演1 「胃X線検診における背景胃粘膜診断」

講師 新潟県労働衛生医学協会 胃内視鏡統括部長 関根 厚雄

講演2 「肺がん検診の要点-「肺がん検診の手引き」2020改定を踏まえて-」

講師 新潟県保健衛生センター 会長 横山 晶

エ 第三分科会

講演1 「HPV検査について」

講師 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
アプリケーションスペシャリスト 阿部 杏実

講演2 「これからの子宮頸がん検診について」

講師 新潟南病院 産婦人科部長 児玉 省二

(2) 細胞検査士研修会

肺がん検診及び子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として、県の委託により研修会を開催した。

開催期間： 令和5年2月13日（月）～2月27日（月）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 95人

内容：

症例検討 「婦人科細胞診における診断困難症例」

座長 新潟大学大学院医歯学総合研究科 家族性・遺伝性腫瘍学
講座（産科婦人科） 特任准教授 西野 幸治

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 家族性・遺伝性腫瘍学
講座（産科婦人科） 特任准教授 安達 聡介
新潟大学医歯学総合病院 総合周産期母子医療センター
助教 山脇 芳

(3) 肺がん検診セミナー

本県の肺がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により開催した。

開催期間： 令和5年3月9日（木）～3月30日（木）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 119人

内容：

講演1 「胸部X線による肺がん検診」

講師 新潟県保健衛生センター 会長 横山 晶

講演2 「肺がんCT検診の現状と課題」

講師 新潟県立がんセンター新潟病院 副院長 田中 洋史

[収益事業等]

I 特定健診等健康情報管理還元代行等事業

1 特定健診等健康情報管理電子化業務代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

特定健診結果電子化代行処理業務	473機関	76,030件	(74,757件)
-----------------	-------	---------	-----------

() 内は令和3年度実績

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

特定健診個人結果通知書作成業務	2市・57機関	3,412件	(3,754件)
-----------------	---------	--------	----------

() 内は令和3年度実績

3 健康づくり及び生活習慣病等に関する印刷物等の頒布事業

生活習慣病予防活動を推進し県民の健康の保持増進を図るため、がん検診等について、分かりやすく解説したリーフレット、冊子を市町村・健（検）診実施機関向けに頒布した。

(リーフレット)

・がん検診	5施設	3,800部
・乳がん検診とブレスト・アウェアネス	27施設	57,100部
・女性のがんと健康	10施設	8,100部

(冊子)

・がんのしおり	25施設	25冊
・生活習慣病のしおり	43施設	43冊

事業報告附属明細書

令和4年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。